

公開講座

子ども問題の総合的理解

子ども問題は、児童虐待をふくめて、ある限られた専門家のみでは解決されません。多分野横断的な機関の協働を機軸に社会全体が連携することにより、現状を越えて一歩でも二歩でも前進していくという認識が必要です。今年の公開講座は、一つは脳科学の立場から子どもの発達を捉え、もう一つは子どもの育ちを支える住環境を考えます。両者は一見距離のある分野に思われますが、「子ども」に視座をおいたとき、極めて密接に関わる分野であることに気づかれると思います。この研修が、「子ども」を総合的に捉える眼差しを磨いていく契機となることを願っております。

日時：11月17日(金) 9:30~14:40

会場：子どもの虹情報研修センター 大研修室

主催：子どもの虹情報研修センター

参加費：無料！！

※ 昼食については、各自ご用意下さい。なお近くに飲食店、コンビニ等はありません。

講師

榊原 洋一（お茶の水女子大学子ども発達教育研究センター）

東京大学医学部を卒業後、小児科に入局。1990年から東京大学講師。2004年からお茶の水女子大学子ども発達教育研究センター教授。専門は小児神経学、発達神経学。「子どもの脳の発達 臨界期・敏感期」（講談社+α新書）等著書多数。

仙田 満（(株)環境デザイン研究所）

東京工業大学工学部建築学科卒業後、環境デザイン研究所を創設。1992年から東京工業大学工学部教授。2001年から2003年まで日本建築学会会長を務める。2006年から日本建築家協会会長。「子どもと遊び」（岩波書店）等著書多数。

小林 登（子どもの虹情報研修センター）

東京大学医学部を卒業。医学博士。アメリカ、イギリス留学後、1970年東京大学医学部教授。1987年国立小児病院院長。日本小児科学会理事、国際小児科学会会長等を務める。チャイルドリサーチネット所長、子どもの虹情報研修センター所長、東京大学名誉教授、国立小児病院名誉院長。

プログラム

9:30 10:30	【公開講座1】 今、子ども問題の解決には何が必要か -「子ども学」の発想-	小林 登 (子どもの虹情報研修センター)	子ども問題は、児童虐待をふくめて、ある限られた専門家のみでは解決されない。学際的、環学的な立場から考える「子ども学」の発想が必要である。
10:40 12:10	【公開講座2】 子どもの脳の発達	榊原 洋一 (お茶の水女子大学子ども発達教育研究センター)	子どもの脳の発達を理解し、脳の発達に及ぼす諸要因について、脳科学の立場から現在到達している知見を学び、児童虐待など乳幼児期の環境が脳発達に及ぼす影響等について理解を深める。
13:10 14:40	【公開講座3】 子どもの育ちを支える建てるもの	仙田 満 (環境デザイン研究所)	子どもが育つ住環境が心身の発達に及ぼす影響は、極めて大きい。建築、設計家の立場から児童虐待の防止につながるような子どもの健康な育ちを支える住環境について学ぶ。

申し込み

裏面の申込用紙にご記入の上 FAXにてお申し込み下さい。

FAX 番号：045-871-8091

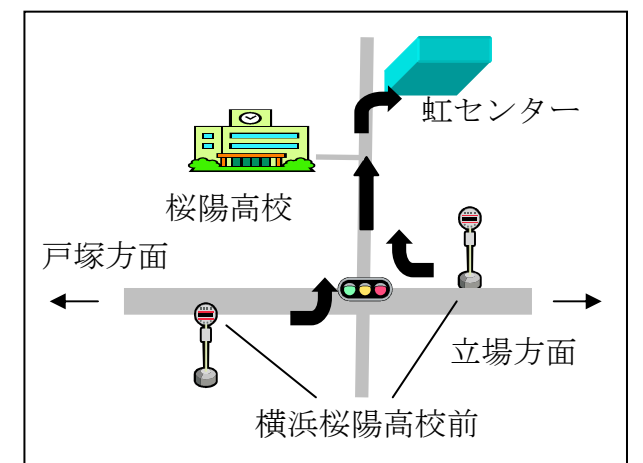
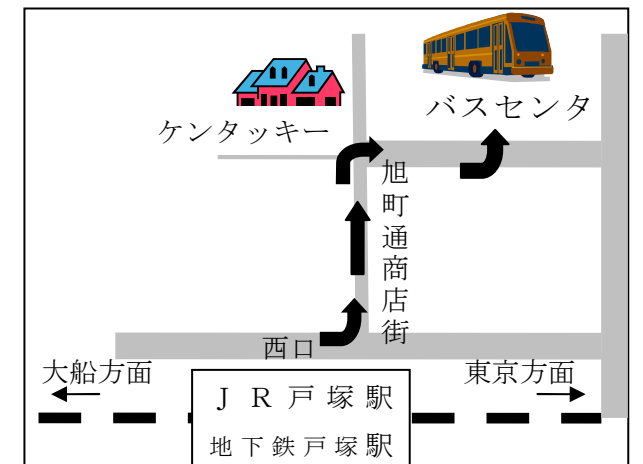
アクセス

JR戸塚駅西口バスセンター（西口より徒歩5分）
2番乗り場「汲沢・立場ターミナル」行
桜陽高校前下車 徒歩3分（右図参照）

※ 駐車場のスペースがございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

問い合わせ先

〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町983
子どもの虹情報研修センター 研修部
TEL：045-871-8011



FAX 送信状

子どもの虹情報研修センター 総務課宛て

FAX-NO 045-871-8091

○11月17日(金)開催の参加申込書

○子どもの虹情報研修センター「児童虐待防止推進月間」公開講座

『子ども問題の総合的理解』

氏名

住所 〒

電話番号

所属等

※ 関係者に周知していただき、ご参加についてご配慮いただきますようお願いいたします。
なお、複数名の方がご希望の場合は連名でご記入願います。